

令和6年第7回尾道市教育委員会会議録

日 時 令和6年6月28日(木) 午後2時30分 開議
場 所 尾道市庁舎4階 委員会室
署名委員 豊田委員

午後2時30分 開会

○宮本教育長 定刻になりましたので、ただいまから第7回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、豊田博子委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち重要な項目がありましたら、順次報告をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課に関わります業務報告及び行事予定について御説明を申し上げます。議案集1ページをお開きください。

まず、業務報告でございますが、業務報告の6行目、7行目、小学校施設LED化設計等業務委託、それから中学校施設LED照明整備業務委託についてでございますが、こちらについてはそれぞれ入札が完了いたしまして、この夏から積極的に工事を進めてまいりたいと考えております。

行事予定についてはお示しのとおりでございます。

報告は以上でございます。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告及び行事予定について御報告いたします。2ページを御覧ください。

まず、業務報告でございます。

6月16日に、2024西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会が開催されました。西日本の学生を中心に187名が参加をされ、インカレ本戦を目指して、熱いレースが行われました。

また、昨年同様、多くのボランティアの方に御協力をいただきましたが、特に因北中学校、因南中学校、重井中学校、因島高校の生徒たちが、エイドステーションの給水係として選手に大きな声援を送っていました。

続いて、行事予定でございます。

7月6日に、“社会を明るくする運動” “青少年の非行・被害防止全国強調月間” 講演会を、市民センターむかいしまこころで開催いたします。大阪府教育委員会でネット対応アドバイザーなどをされているNTT情報技術推進ネットワーク株式会社の篠原嘉一氏を講師にお迎えし、「スマホやSNSのトラブルから身を守るために」というタイトルで、ネット上のトラブルから子供たちを守る対策などについて御講演をいただきます。

続きまして、図書館について、指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。

3ページは中央図書館でございます。

業務報告の6月15日と行事予定の7月13日に、それぞれ子ども茶道教室とありますように、月1回茶道教室を開催しております。毎回15名程度の小学生が参加されているということで、年度末には発表会も行われているということでございます。

続いて、4ページを御覧ください。みつぎ子ども図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりです。

行事予定でございますが、6月29日に、定例おはなし会と工作教室「きらきら☆七夕かざり作り」を開催します。初めて開催するイベントでございます。七夕に関する本の読み聞かせの後に、紙コップやテープなどを使って、七夕の飾りつけを作り、参加者に持ち帰ってもらうイベントとなっております。

続きまして、5ページを御覧ください。因島図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりです。

行事予定でございますが、7月7日に環境講座を開催いたします。鳥取大学で助教授をされて、現在は因島に在住の松浦興一氏を講師にお迎えし、気候変動の話をしていただくもので、小学生から大人を対象にしたイベントとなっております。

続きまして、6ページを御覧ください。瀬戸田図書館でございます。

業務報告でございますが、6月22日に、本州四国連絡高速道路出前講座～瀬戸内しまなみ海道開通25周年を迎えて～を開催し、31名の方が参加をされました。本州四国連絡高速道路の職員による橋に関する講座でございましたが、講座の後に、質疑応答でもたくさんの方が質問されており、参加された皆さんは非常に興味深く話を聞かれていたとのことでございます。

行事予定につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、7ページを御覧ください。向島子ども図書館でございます。

業務報告でございますが、6月2日に、第44回大人のための朗読会を開催

し、173名の方が来られました。長年にわたり続いているこの朗読会でございますが、朗読をされているわすれな草のサークルが解散されるということで、次回、11月開催の第45回の朗読会をもってこのイベントは終了される予定と聞いております。

行事予定につきましては記載のとおりでございます。

以上で図書館の業務報告を終わります。

○**榎原因島瀬戸田地域教育課長** 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定について御説明いたします。

議案集8ページをお開きください。

初めに、業務報告でございます。

旧三庄中学校については、昨年6月以降、校舎解体に始まり、12月からは跡地整備工事に着手いたしました。年度内完成が難しくなり、3か月工期を延長して事業を繰り越すこととなりましたが、このたび完成を迎えることができました。今年度から既に用途変更しております三庄市民スポーツ広場と三庄公民館利用者用に新たにアスファルト舗装された駐車場が完成いたしました。供用開始は、週明けの7月1日からとなります。

旧三庄中学校は、因島南地域の閉校した小・中学校の中で跡地整備が最後となっております。コロナの影響により解体工事に着手できない時期もございましたが、これで因島南地域の跡地整理は全て完了したこととなります。学校が地域にとって大切な存在であったように、これからも地域の皆さんがスポーツに親しみ、体力の向上と地域のコミュニティーを深める場所として、三庄市民スポーツ広場を大切に御利用いただければと思います。

6月27日、因北中学校屋外トイレ新築工事の開札の予定でございましたが、応札者がなかったため、不調に終わっております。次の入札は8月初旬の予定で、再入札の準備を進めております。

続いて、行事予定については記載のとおりとなっております。入札により、施工業者が決定した修繕や委託業務について、学校と連携を取りながら、なるべく夏季休業期間中に業務を進めていく予定です。

以上でございます。

○**新苗美術館長** 教育長、美術館長。美術館の業務報告並びに行事予定の御説明をいたします。議案集9ページを御覧ください。

初めに、業務報告についてでございます。

市立美術館では、6月1日から6月16日まで、第68回尾道市美術展を開催

し、会期中の来館者数は3,553人でした。また、最終日の6月16日に、表彰式と審査の先生が解説を行う鑑賞会を実施いたしました。

続いて、行事予定につきまして、市立美術館では、7月6日から夏休みファミリー向け特別展として、「ディズニー キャッツ&ドッグス展」を開催します。本展では、ディズニー作品に多く登場する犬と猫をテーマに、親しみ深いディズニーの動物作品の魅力に迫ります。ディズニー本社の全面協力の下、制作された、日本初公開を含む約300点の貴重な資料とともに、映像や音楽、ジオラマ、スタチューを展示いたします。

また、本展から、オンラインでの電子チケットの販売を開始いたします。

展覧会初日には、「ウォルト・ディズニーと動物アニメーション」と題し記念講演会を、7月21日には、当館学芸員によるギャラリー・トークを開催する予定です。

そのほかにつきましては記載のとおりでございます。

○**安保学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業務報告並びに行事予定について御説明いたします。議案集10ページを御覧ください。

まず、業務報告についてですが、5月24日、28日、29日に、業績評価に関わる校長面談を行いました。

広島県東部教育事務所の全校訪問は5月24日から始まっており、6月26日までの期間で19校の訪問がありました。管理主事等が同行し、校長面談、授業参観を通して、学校の様子を把握に努めました。

6月5日に、小中学校校長会を行いました。

6月12日に、スクールリーダー育成研修を行いました。スクールリーダー育成研修は、広島大学教職大学院と市町教育委員会が共同で開催されており、県内では令和3年度から実施されていますが、本市の開催は初めてとなります。所属校の諸課題を明らかにし、課題解決を図っていくアクションリサーチ型の研修で、スクールリーダーとしての役割を認識し、所属校の課題解決の手法や戦略を学び、実践的な解決能力を身につけていくことができるキャリアステージに応じた研修として位置づけております。年間5回実施し、参加者は、校長が推薦する主任または主任候補者で、小学校8人、中学校7人の計15人が参加しております。

6月24日に、学校経営サブリーダー研修会を行いました。学校経営アドバイザーからサブリーダーの役割についての講話、教育指導課から生徒指導の在り方についての講義、演習、そしてサブリーダー実践力向上講座として、テーマ

別研修を行いました。

続いて、行事予定について御説明いたします。

7月3日に、小中学校校長会を行います。

7月5日に、第1回教育長ミーティングが行われます。県教育委員会から、重森乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与らをお迎えし、市教育委員会からの施策説明と意見交換を行った後、因北中学校を視察いたします。

7月10日に、スクールリーダー育成研修を行います。

続いて、尾道みなと中学校区の学校再編についてですが、5月24日、第8回開校準備委員会を市役所で行いました。各検討部会からの進捗状況や、校章のデザイン及び校歌の作詞、作曲の依頼者について報告するとともに、尾道みなと中学校の新しい制服について、生徒指導等検討部会から提案し、中学校の制服はスーツスタイルとすることが議決されました。

6月11日、第5回教育課程等検討部会を山波小学校で行いました。教育課程と教育内容について検討を行い、主に教育計画の作成と重点取組について協議をいたしました。

6月17日、第6回生徒指導等検討部会を久保中学校で行いました。小・中学校の学校規定品について、体操服、名札、上履き等の報告がありました。自転車通学については、どの範囲まで自転車通学を許可するのか、学校からの提案を受け、育友会からも意見が出されましたので、継続して学校で検討することとなりました。通学支援については、今後、7月に生徒指導等検討部会とは別に、久保小学校、長江小学校、土堂小学校の保護者と学校、教育委員会で構成される小部会を行い、協議を重ねていく予定としております。

6月24日、第9回開校準備委員会を市役所で行いました。各検討部会からの進捗状況と、以前、委員から統合後の地域行事の在り方や閉校式の出席者、閉校記念行事の持ち方について質問がありましたので、このことについて事務局から回答を行いました。施設整備については、現在の取組状況を事務局から報告し、今後、校舎レイアウトについて、学校、保護者からも意見を求めることとなりました。次回は7月19日に第10回開校準備委員会を行う予定です。

今後も、尾道の未来を担う子供たちの教育環境の充実を目指し、小中一貫教育校のよさや新しい学校の教育内容等について丁寧に説明し、理解を得られるよう努めてまいります。

以上でございます。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。議案集11ページを御覧ください。

まず、業務報告です。

5月29日に、オンラインで通級指導教室担当者研修会を実施いたしました。市内の通級指導教室4校から7人の先生が参加され、実践交流や広島県立教育センターの廣藤指導主事から、一人一人の状況や願いに応じた指導の在り方について講話をしていただきました。今後、各校の通級指導教室へ廣藤指導主事が直接訪問し、指導していただくこととなっております。

6月4日、「学びの変革」推進協議会を吉和中学校で開催いたしました。学校の研究であるユニバーサルデザインの視点を取り入れ、生徒のできた、分かったを引き出す工夫にあふれた数学科の授業提案から、小学校からの確実な基礎・基本の定着の重要性と全ての児童・生徒の主体的な学びを促す指導の工夫を学び合いました。

6月6日、小学校2年生担任研修会を向東小学校で開催いたしました。この研修会は、2年生の学習内容の重要性を理解し、指導力の向上と日々の授業改善につなげることを目的に行っているものです。研修では、向東小2年生の国語の授業を参観し、挿絵や動作化などを手がかりにしながら、場面の登場人物の行動や様子を想像し、友達と対話したり、共有したりすることで深め、音読で表現する楽しさを実感している授業から学び合いました。

続いて、6月11日から21日にかけて、広島県児童生徒学習意識等調査が小学校5年生と中学校2年生に実施されました。昨年と同様、グーグルフォームでの回答となっております。児童・生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学年における教科指導等の状況を把握していきます。今後、県内の状況が公表されましたら、尾道市の結果をお伝えしたいと思っております。

続いて、6月15日には、「子ども司書」養成講座を尾道市役所4階大会議室で開催いたしました。今年度は6人の児童が参加し、学校司書のサポートの下、お薦め本のポップを作ったり、ビブリオバトルなどにも挑戦したりしました。今後、児童は各図書館で実地研修を体験する予定です。

6月24日は、第3回尾道市教育相談連絡協議会を実施し、各担当者からの近況報告を行いました。

6月25日に、図書館教育研修会を御調の尾道市市公民館で開催いたしました。生涯学習課から電子書籍の活用についての講話や、御調中央小の学校司書、杉原しのぶ先生から、「児童・生徒が本や新聞を手取るためには」と題しての演習、読書活動推進及び学校図書館の充実に向けた取組についての協議などを行い、学校図書館の活性化や読書活動の充実に向けて研修を行いました。

次に、行事予定については御覧いただいているとおりでございます。

最後に、4月に実施いたしました中学校1年生、2年生を対象にした国語、数学の学力定着実態調査の結果が届きましたので、その結果を御報告させていただきます。

中学校1年生の結果については、国語、数学2教科ともに全国平均を上回っています。小学校において概ね学力の基礎・基本が定着し、それが活用できるようになる授業が展開されていることがうかがわれます。

中学校2年生の結果については、国語、数学2教科ともに全国平均を上回っています。しかし、数学では、中学校1年生のときと比較すると、尾道市と全国の差がプラス1.3からプラス0.5になっています。全国平均を上回っているとはいえ、数学においては、授業の展開などについて再度検討していく必要があると考えます。

また、尾道市の課題の一つとしては、学校間の差が大きいことが上げられます。中学校2年生においては、国語は学校間の差が小さくなっていますが、数学では学校間の差が大きくなっています。算数、数学は積み上げ型の教科なので、既習事項が理解できていないと、次の学習の理解は難しくなります。小学校で身につけるべきことは確実に小学校で身につけさせるなど、当該学年の学習内容の確実な定着が図れるよう、引き続き指導していきたいと考えております。

7月末には、全国学力定着状況調査の結果が返ってきますので、それと合わせて、市内の小・中学校の成果と課題をしっかりと分析し、学力向上に努めていきたいと考えております。

以上でございます。

○宮本教育長 ただいまの報告について御意見、御質問はありますか。

豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

教育指導課に御質問したいと思います。

6月4日に、学びの変革推進協議会というのが行われていますが、吉和中であったんですかね。それで、今年度は特にその学びの変革の中のどういうところを中心に研修を進めるなり、教委が指導されるなりというところを教えてくださいたいと思います。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。今年度は、県のほうでは、1回はオンデマンド、あと2回は集合ということで、3回するようにと示されておりますけれど、市としては3回とも集合しての研修をすることとしております。

また、先生方に、授業を通してしっかりと協議をしていただき、協議を通して授業改善のポイントをつかんでいただきたいと思っているところです。

そして、今年度は、学級集団づくりを土台に考えておりますので、その学級集団づくりも含めて、授業改善にどうつなげていくかということも一体的に考えていきたいと思っております。

また、尾道市の重点取組であるゴールの明確化、達成意欲を喚起させる課題設定の工夫、じっくり考えさせる活動、タブレットを使った協働的な学び、そして振り返りの充実っていうところをしっかりと意識した授業改善をしていくということ、そして、どの子も分かる授業をするために、特別支援の考え方を生かした授業の改善にも力点を置いて、協議していきたいと考えているところでございます。

○**宮本教育長** 豊田委員。

○**豊田委員** ありがとうございます。

授業を通して研修するというのは当然のことなんですけれども、とりわけ昨年度から集団づくりを通して授業を進化させていくというふうなことがありましたけれども、具体的に何か今年度、1つか2つかやってみようということがありますかね。

○**金子教育指導課長** 教育長、教育指導課長。これまで言われてきた生徒指導の三機能に、安全・安心な風土の醸成を意識した授業づくりをしていくことを、校長会、生徒指導主事会、あるいは色々な場面を通して、指導しているところでございます。

その中で、例えば栗原北小学校や日比崎小学校で、クラス会議を大事に集団づくりしておられます。市教育委員会でクラス会議を改めて取り上げて研修はしておりませんが、学校の方で自主公開の研修会で発信していただいております。また、教育研究会の特別活動部会でも、クラス会議に視点を当てて研修すると聞いております。このように、先生方が自主的に研修される動きも始まっておりますので、集団づくりを意識しながら、授業改善の取組が進んでいくと捉えております。

以上でございます。

○**豊田委員** ありがとうございます。

○**宮本教育長** 今のことでちょっと言わせていただきたいんですけど、学級で勉強していくときに、集団づくりの一番大切なことは何かっていうと、ある子が発言しますよね、そしたらそれに対してちゃんとうなずくとか、反応するか、ああ、なるほど、ああ、そうかとか。そういう人間を大切にするというの

は、誰かが何か言った時に、きちんとそれを受け止める、反応するということが大切だと思うんです。そのことを市内全体の学校で徹底していくところから、もう一回そこがちゃんと出来ているのかというのを見ていただいて、まずは授業の中で人を大切にしているというのはどういうことなのかというのを子供たちにしっかり伝えて、それができるようになるというのが大切かなというふうに思います。

ほかにございますか。

奥田委員。

○奥田委員 学校経営企画課に質問させていただきます。

資料10ページの6月12日の尾道市スクールリーダー育成研修会、これは今年度からスタートですかね。従来、似たような名称でいきますと、6月24日、学校経営サブリーダー研修会というのがございましたが、この12日の尾道スクールリーダー育成研修会、広大の方も入られて指導されるというような説明でしたが、サブリーダー研修会は教頭さんとか主任で運営される。こちらの場合は主任も入り、教諭も入る組織になるのでしょうか、そのあたりの違いと、今年度からスタートして、あと今年度で終わりなのか、何年か計画はあるのか。この研修というのは非常に魅力的な研修のように思いますが、これを通してどのような教員を育てていこうとしておられるのかというところを聞かせていただければと思います。

○安保学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。まず、スクールリーダー育成研修とサブリーダー研修会の違いですけれども、対象者が、スクールリーダー育成研修については、校長が推薦する主任または主任候補者ということで、現在の教務主任ですとか、研究主任、生徒指導主事、中には養護教諭もおります。こういった校長が推薦する者です。

サブリーダー研修会については、教頭、主幹教諭、総括事務長、事務長を対象としているもので、年間7回行っております。

ねらいは、学校組織の運営の中核となるスクールリーダーを育てていくということで、学校運営に積極的に中心となって携わる、そういったリーダーを育成しようと考えております。

この研修は、広島大学教職大学院と共同で運営しておりまして、来年度についてはまだはっきりとしたことは申し上げられませんが、この研修は、NITSという独立行政法人教職員支援機構の援助といたしますか、予算も使って運営されているところです。来年度についてはまだ未定となっております。

以上でございます。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 ありがとうございます。

端的な違いは主任が入っているか入っていないかというところに大きな差があるということですが、これまで学校経営サブリーダーの研修会が果たしてきた役割が大きかったと思うんです。尾道市の教育を推進するという中で、ここにある新しい主任の、あるいはそういう期待される人材を育成する組織がスタートしたというのは非常に意義があり、良いことだと思います。

それで、予算がついたから今年度できているので、来年度はどうなるか分かりませんという説明でしたけれども、こういう主任レベルの教員が、他校の主任とお話をする中で、いろいろ刺激を受けて、ああ、こういうのはうちで取り入れたらいいんじゃないとか、そういう効果もかなり期待できると思います。来年度に予算化されればそのままいいと思うんですけど、予算化されない場合でも何らかの形で、こういう主任のうちから研修するという制度を残していただければなと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

○宮本教育長 ほかにありませんか。豊田委員。

○豊田委員 今日、中学校の学力調査の定着状況についての資料が出ておりますけれども、全国平均よりか上になっているということでしたので、それぞれの各学校での頑張りが定着してるのかなというふうにとっても喜んでおります。

細かい分析については、また全国学力の調査が発表されますよね、そのときでもいいと思うんですけども、特に全国平均よりかはよかったということは大きく評価したいと思うんです。さらに数学が少し、プラス1.3ぐらいですか、ちょっとよかったんでしょうね。さらに上げていくために何をしたらいいのかとか、今行われている個別の、特に分かりにくい子供たちに対するその日の授業の中で分からなかったことというのがやっぱりあると思うんですね。その積み重ねがあって、なかなか定着しないところもあると思うんですけども、そういう分かりにくかったところをどのように分からせていったらいいか、授業の中でなかなか難しいということになれば、さっきの教え学習でもいいと思うんです。集団で学んでいるわけですから。よく分からなかったから教えてということがフランクに言える感じでやっていけたら、もっといいかなという思いを持っているんですけども。勤務時間のことがあったりして、なかなか時間が取れないということも聞いてるんですけども、時間が取れなかったらじゃあそれでいいのというのではなくて、方法的にいろいろ考えていくと、もっとできるようになる手法もあるんじゃないかなと思うんですが、そのあたりで、校長会とか研究主任さん等々で話があるのかどうなのか、お聞きしたいと思いま

す。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。細かいところについては、全国学力・学習状況調査が返ってまいりましたら御説明しようと思っておりますけれども、算数、数学については、特に積み上げの教科ですので、低学年からしっかり力をつけないといけないということは、先日の「学びの変革」推進協議会の中でも先生方と共有したところでございます。

そのときの授業の中で、吉和中学校の先生が、平方根の授業でしたが、平方根の授業をする前に、例えば掛け算や割り算でつまずいていて、本来やるべき平方根の計算にたどり着かない生徒もいるという実態があるということで、その先生は、既習事項の復習を授業の中に必ず入れ、授業の中で最初に小テストをして授業をしたり、小テスト、がんばりプリント、がんばりテストというように、同じものを繰り返しながら取り組んだりし、授業の中でできてないところを補いながらやっているというような授業提案をしていただきました。

また、どの子にも分かる授業を、ということで、ユニバーサルデザインを学校で取り組んでおられ、授業の中で、共有し合う、友達と一緒にしっかりと対話を通して教え合うことを大事にする授業も御提案していただきました。

協議の中では、参加者の先生方と日々の授業の中でどうやったら力をつけていくことができるかについても協議をしました。

また、2年生担任研修会においても、西藤小学校が昨年、低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業の指定を受けておられましたので、この事業の報告もその中でしていただいています。これは、県の事業ではありましたが、学びの基盤テストを実施し、どういうところにつまずきがあるかというところを事前に把握して、そのつまずきに応じた手だてを講じて授業をしていくということを学校全体で積み重ねている、そんな実践報告もしていただきました。

子どもたちにしっかりと力をつけていくということを意識しながら、授業改善に努めているところでございます。

以上でございます。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。ありがとうございます。

以前からずっとそういう手法も取りながら、今日に至っているわけですが、継続するということが大事だと思うんですね。そして、若い先生も増えていますから、今まで尾道がやってきた、そういう各学校で取り組んできた手法とか、子供に定着するためのその手法が、これがよかったよというふうなこともずっとやってきていますよね。それを継続して、つなげていくということ

を、どこかでいつも言っていないとなかなか難しいと思うんですね。そういうところをぜひお願いしたいと思います。ありがとうございました。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

美術館に質問なんです、令和5年度の収支と、令和5年度の入館者数、ざっくりした数字でいいです。それと、令和6年度の入館者目標があれば教えてください。

○新苗美術館長 教育長、美術館長。まず、入館者ですけれども、令和5年度が6万1,397人です。前年の87%ぐらいなんです、年によって開館日がかなり違っておりまして、5年度は、絵のまち尾道四季展の隔年のものがなかったりしますので、1日当たりの入館者数で比較しますと、前年度の97.5%ぐらいになっております。

それから、収支ですが、入館料を伴う特別展の収支になるんですが、あと春の展覧会が3月から5月にかけて年度またぎになってしまいますので、4月、5月、会期が長いほうを取って、年度とはずれた集計にはなるんですけれども、年間収入、これはほとんどチケット収入なんですけれども、こちらが約1,457万2,000円です。それに対して人件費、それから警備、そういったものも全て含んだ支出、こちらが約3,527万7,000円です。そうしますと、マイナスの2,070万5,000円ぐらいの収支になります。これは年度をまたいだところがありますので、少し決算とはずれた数字になっております。

令和6年度の目標、入館者数は、前年は超えたい、6万人は超えたいというところで目標にしております。

以上でございます。

○宮本教育長 村上正則委員。

○村上（正）委員 その前の年、令和4年が7万1,000ほどだったと思うんですけれども、目標をその辺に持っていくことはできんですか。どんなでしょう。

○新苗美術館長 教育長、美術館長。展覧会の内容とか開館日数の違いがありますので、なかなかどんどん伸びていくという数値は立てにくいんですけれども、もちろん職員の目標というか、一回一回の展覧会ごとにこの数字は取っていきたいっていうのがありますので、もちろん毎年過去最高を目指してはいつておるんですけれども、そういった状況でございます。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

ここで、議案の審査に入る前に、これまでの教育委員会会議における宿題などがありましたら、事務局のほうから説明をしていただいて、質疑応答を行いたいと思います。いかがでしょうか。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。それでは、前回、英語教育について御意見をいただきましたので、英語教育の方向性について御説明をさせていただきますようお願いしております。

尾道市内の中学3年生の英検3級相当以上の英語力を持つ生徒の割合、これは、令和5年度57.7%であり、研修等を通して授業改善が進み、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになったこと、また毎年、英検I B Aの受験をすることで、学力向上に対する意識が高まった成果であると考えております。

一方、英語の授業の状況は、授業における生徒の英語による言語活動の状況、そして授業における教師の英語使用状況は、ともに県平均と比べても課題が見られております。

前回教育委員会会議において、オールイングリッシュでというお話もいただきましたが、中学校学習指導要領解説外国語編に、指導計画の作成上の配慮事項に、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする、その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること、また授業は英語で行うことを基本とするのポイントは、英語に触れる機会と実際のコミュニケーションの場面であり、そうした趣旨の授業展開であれば、必要に応じて補助的に日本語を用いることも考えられると示されております。

これまでも、研修等を通じて、この配慮事項を踏まえた授業改善に取り組んでまいりましたけれども、英語の授業の状況を見ますと不十分であると捉えております。

そこで、まずは授業における生徒の英語による言語活動の状況について、授業中50%以上の時間、言語活動を行っているという状況を今年度は69%を目標値として、3年かけて、令和8年度に75%以上にすることを目指していきたいと考えております。

同様に、授業における英語担当教師の英語使用状況についても、発話の50%以上を英語で行っている状況を今年度は51%を目標値として、令和8年度に65%以上にすることを目指していきたいと考えております。

現在、教育委員会では、グローバル・ローカル・尾道らしさを推進する授業を展開しておりますが、このような現状も踏まえ、この事業の取組項目の一つに、指導者の指導力を高める取組を設定し、英語担当指導主事による学校訪問や研修の充実に努めているところでございます。

また、引き続き、校長会、中学校尾道教育研究会英語部会と連携し、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすることに配慮しながら、授業の在り方自体を見直し、英語を使って生徒とやり取りするなどのコミュニケーション場面を充実させるようにしていきたいと考えております。

以上でございます。

○宮本教育長 ただいまの報告について、御意見、御質問はありませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。ありがとうございます。

担当教師の使用状況がちょっと悪いなどは思うんですけども、ぜひ頑張りたいと思います。

このデータは、当然校長先生とか、担当の英語の先生方はもちろん持っておられるというか、知っているということですね。

はい、分かりました。

それと、英語ではないんですけども、学力実態調査のこのデータも校長先生は持っておられるということによろしいですか。

はい、分かりました。ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

奥田委員。

○奥田委員 あわせて、ちょっと質問してみたいんですが、英語における英語使用状況というところで、令和5年度広島県と尾道を比較すると、大分差があるわけなんですけど、この差が客観的なものなのかどうなのかというんですかね。実際、問いかけて発話の50%を英語で行っているという、いろんなレベルもあると思うんですけど、ただ数字的に言うと64.6と43.8というと大分差がある。実態的に英語の指導主事さん方も他市の英語の授業を見に行かれたりすることも多いと思うんでよね。その中で、実態的にどうなんですかね、ここまで差があるのか、そこはちょっといろいろ問いに対する捉え方の違いであるのか、そして実際にかなり差があるのであれば、尾道市の場合はどういうところが課題であると理解しておられるのか、その2点をお伺いしてみたいと思います。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。この調査は毎年している調査であ

りますけれども、先生方に実際回答していただいている項目になりますので、客観的かと言われれば、先生方がどう捉えて、どう答えておられるかというところになりますので、尾道の先生方が控え目に答えていただいているのではないかと考えています。

他市の授業と比べて尾道の授業がどうかという点については、十分把握できておりませんが、子供たちの力はしっかりついてきております。ただ、その力をつける際に、英語を通して、英語でのコミュニケーションを通して、子供たちに気づかせたり、考えさせたりするという授業改善が十分ではないのではないかと捉えているところです。

以上でございます。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 目標を持って取り組まれるということでもよろしく申し上げます。

ついでに、英検3級の英語力の推移ということで57.7という、模擬試験をベースに、模擬試験でこれだけ取れる生徒がいるから57.7%だろうという判断ですかね。これは県平均と比べてみて、そんなに悪いことではないというようなことですかね。比較がないもんですから、57.7%というのがどういう位置にあるのかというのがちょっと分からなかったんで、そのあたりはどうですか。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。国の平均は50%です。県はもう少し低かったかと思いますが、尾道市の英検3級相当以上の英語力は、全国的に見ても高く、力がついております。

○奥田委員 分かりました。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ほかに宿題などはなかったでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、次に、日程第2、議案の審査に入ります。

議案第36号 尾道市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命及び委嘱についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。議案第36号 尾道市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命及び委嘱について御説明をさせていただきます。

議案集12ページをお開きください。

本議案でございますが、尾道市学校給食共同調理場設置条例第4号及び同条例施行規則第4条に規定されている尾道市学校給食共同調理場運営委員会の委

員の任命及び委嘱期間が満了することに伴い、新たに任命及び委嘱を行うことについて承認を求めるものでございます。

運営委員会委員は、教育委員会の庶務課長、共同調理場所長、給食対象範囲の小学校及び中学校の校長、給食対象範囲の小学校、中学校及び幼稚園のPTAの代表者、学識経験者で構成されております。

新たに任命及び委嘱する各共同調理場の運営委員会委員名簿を14ページから17ページに掲載をしております。

栗原北学校給食共同調理場運営委員会委員は、男性6名、女性13名の計19名でございます。構成する委員の平均年齢は48.4歳でございます。

続きまして、15ページをお開きください。

御調学校給食センター運営委員会委員は、男性2名、女性7名の計9名でございます。構成する委員の平均年齢は48.9歳でございます。

続きまして、16ページをお開きください。

因島学校給食共同調理場運営委員会の委員は、男性2名、女性5名の計7名でございます。構成する委員の平均年齢は47歳でございます。

続きまして、17ページをお開きください。

瀬戸田学校給食センター運営委員会委員は、男性2名、女性5名の計7名でございます。構成する委員の平均年齢は50.9歳でございます。

各共同調理場運営委員会委員の任期は、令和6年7月1日から令和7年6月30日までの1年間となります。

御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御質問、御意見はありませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

この中に母親代表ってあるんですけど、これ副会長だけでいいんじゃないのかなと思うんですが、母親代表はやっぱり要るんですかね。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。この母親代表については、恐らく従来から母親代表という肩書も入れさせていただいてきた経過がございますので、このあたりについて、そこまで必要かどうかという部分については今後の検討課題とさせていただければと思います。ありがとうございます。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第36号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

次に、議案第37号 尾道市公民館運営審議会委員の解嘱、解任及び委嘱、任命についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。議案第37号 尾道市公民館運営審議会委員の解嘱、解任及び委嘱、任命について議案説明させていただきます。

18ページを御覧ください。

本議案は、公民館運営審議会委員の異動に伴い、委員の解嘱及び委嘱等の御承認をお願いするものでございます。

公民館運営審議会でございますが、公民館の各種事業の企画実施について調査、審議いただく機関でございます。

19ページを御覧ください。

委員のうち、尾道市小学校校長会、尾道市公立中学校校長会及び尾道青年会議所からそれぞれ選任されている委員に変更がございました。

金沢民恵氏の異動に伴いまして、後任者として福島健作氏を、井上一男氏の異動に伴い、後任者として岡野大助氏を、加藤雅崇氏の異動に伴い、後任者として藤田祐輔氏を新たに委嘱、任命するものでございます。

任期については、本年7月1日から令和7年6月30日まででございます。

20ページでございますが、改選後の委員名簿でございますが、改選後の平均年齢は66歳、女性委員の割合は、17.6%でございます。

以上、御審議の上、御承認を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありますか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

因島青年会議所はどうして漏れたんですか。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。因島青年会議所については、昨年度も同じような御質問をいただきました。今回は、任期の途中で委員が交代するというので、特に因島青年会議所のほうにはお声がけはしておりません。ただ、1年後の改選のときには検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○宮本教育長 よろしいですか。

○村上（正）委員 はい、分かりました。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第37号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

次に、議案第38号 尾道市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。議案第38号 尾道市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱について御説明いたします。21ページを御覧ください。

本議案は、尾道市スポーツ推進委員の辞職願の提出に伴い、後任の委員の委嘱をお願いするものでございます。

スポーツ推進委員は、生涯スポーツの普及を目指し、地域において、スポーツの実技指導を行っていただいている方ございまして、学校や公民館などでボッチャなどの普及、体力測定の実施、また教育委員会が行う各種スポーツ行事の運営のお手伝いをしていただいております。

22ページを御覧ください。

瀬戸田東生口体育協会から選出されていた田坂明教氏から辞職願の提出がありまして、後任として、石原潤氏を新たに委嘱しようとするものでございます。

新たな委員の任期は、本年7月1日から令和7年3月31日まででございます。

23ページ、24ページに変更後の委員名簿をおつけしておりますが、24ページの表の一番下のところでございますが、男女の内訳としまして、男性47名、女性18名で、平均年齢が60.9歳、女性の比率は27.7%でございます。

以上、御審議の上、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

ないようですので、これより議案第38号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

以上で日程第2、議案の審査を終わります。

その他といたしまして、委員の皆様から何か御意見等はございますか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 村上節子です。

先日、吉和中学校の体育祭へ行ってきました。

そこであった出来事を皆さんにお伝えしたいのと、そのとき私が思ったことをお話ししたいと思います。

開会式が終わって、最初のラジオ体操の演目のときに、音が途切れ途切れになってしまって、その放送をかけていた先生が一旦止めますと放送されました。前で、生徒が台の上で演舞してたんですけど、途切れ途切れになってるときにもみんなやめなかったんで、そのまま続けてたんですけど、一旦止めますって言ったけど、その生徒さんが一、二、三、四と声かけしたんですよ、そうすると、その場にいた全ての生徒が五、六、七、八と返して、最終的に音楽なしで全てが終わったっていうことがあって、ラジオ体操の演舞を私も一緒にしていたんですけど、すごく感動したんです。終わった後に、一緒にいた来賓のほかの方たちもすごく感動していて、校長先生に、今のはすごいことだったっていうことを言われてて、私もそれはすごく思ったんですね。

私自身が教育委員になって1年たったんですけど、この1年間、教育って何かなと、こういった会議の中で、皆さんが発言されることとかを聞いていても、何なんだろうってずっと思ってたんです。今回のラジオ体操の経験で、何か多分こういうことなんだっていう、もちろんここで皆さんと一緒にいろいろ議論したり、話し合うことはすごく大切なんですけど、先生たちが行っていた日々の積み重ねの中で、子供たちが自主的にそれができたっていうこと。

開会式のときの吉和中学校の校長先生の言葉の中にも、今回の体育祭に関して、子供たちに自主性を求めて、子供たちに任せて作り上げてきた体育祭なので、温かく見守ってくださいということを言われてたんですけど、それが本当にその数分の中で全部何か出たっていう感じがあったので、皆さんに報告させていただきました。

○宮本教育長 いいお話をありがとうございました。

本当に教育として素晴らしい瞬間っていうのを私たちも今感じたんですけども、ここで数値のいろいろな話も出るんですけど、数値で全体的な傾向を把握して、不十分な点は改善していくってことはもちろん必要なんですけど、今のお話は決して数値には現れないんですけども、子供たちの連帯だったり、自主性だったり、臨機応変さだったり、人間の能力の中の素晴らしい部分という

のが育っているんだなっていうことを感じましたので、本当にいいお話でした。ありがとうございました。

ほかにございませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

いい話の後ですみません。私も体育祭に11校ぐらいかな、見たんですが、どれもすばらしくて、年々、今年は入場行進が復活した、完全じゃないですけども、復活した学校があつて、非常によかったなと思います。

ただ、セレモニーの中で、学習指導要領では卒業式などにおいては国旗国歌をやりなさいと、体育祭がなどの中に入るとしたら、国旗国歌をやらないといけないんじゃないかなと単純に思ったんです。やってる学校もあれば、歌のほうも、やってない学校もあるので、もし指導要領を守られるんならしたほうがいいんじゃないかなと思うわけなんですけども、感想です。答えは別にいいです。はい、すいません。

○宮本教育長 ほかにございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

なお、次回の定例教育委員会は7月25日木曜日午後2時30分からを予定しております。

お疲れさまでした。

午後3時39分 閉会